

令和6年度第2回静岡県がん対策推進協議会

1 日時

令和7年2月3日（月） 午後3時から午後5時まで

2 場所

県庁西館4階第1会議室A B C（オンライン併用）

令和6年度第2回静岡県がん対策推進協議会次第

1 開 会

2 副知事挨拶

3 委員紹介

4 副会長指名

5 議 題

(1) 協議事項

【協議1】第4次静岡県がん対策推進計画の進行管理

(2) 報告事項

【報告1】第1回静岡県がん対策推進協議会書面開催結果

【報告2】がん患者団体リストの公表

【報告3】協定締結企業との連携

【報告4】静岡県がん登録協議会の設置・開催

【報告5】HPVワクチンキャッチアップ接種経過措置

(3) その他

6 閉 会

静岡県がん対策推進協議会委員名簿

協議会役職	委員氏名	所属機関・団体	所属団体での役職	備考
会長	森 貴志	静岡県	副知事	
委員	秋元 伸哉	静岡県町村会	川根本町副町長	オンライン
委員	秋山 欣丈	一般社団法人静岡県医師会	理事	オンライン
委員	池田 恵一	ほほえみの会	副代表	
委員	板倉 称	浜松市	医監	オンライン
委員	上坂 克彦	県立静岡がんセンター	総長	
委員	岡田 国一	公益社団法人静岡県薬剤師会	会長	
委員（新任）	加陽 直実	一般社団法人静岡県医師会	会長	オンライン
委員（新任）	小阪 謙三	静岡県立総合病院 副院長（代理出席 金本 秀行（がん診療部長））		
委員（新任）	鈴木 昭彦	静岡県市長会	三島市副市長	
委員（新任）	鈴木 健雄	アルファ・クラブ浜松胃交会	副会長	
委員	田内 一民	一般社団法人日本総合健診医学会	理事	
委員	竹内 裕也	国立大学法人浜松医科大学	教授	欠席

静岡県がん対策推進協議会委員名簿

協議会役職	委員氏名	所属機関・団体	所属団体での役職	備考
委員	田中 一成	静岡市	理事兼保健所長	
委員	富永 伸彦	健康保険組合連合会静岡連合会	常務理事	
委員	富永 久雄	一般財団法人静岡県労働福祉事業協会	理事長	
委員	平野 明弘	一般社団法人静岡県歯科医師会	会長	
委員	星野 希代絵	あけぼの静岡	代表	
委員（新任）	前島 稔生	静岡県国民健康保険団体連合会	常務理事	
委員	増井 均	公益社団法人日本オストミー協会静岡県支部	支部長	
委員	松本 志保子	公益社団法人静岡県看護協会	会長	
委員	溝渕 俊次	沼津信用金庫	参与	
委員	毛利 博	公益社団法人静岡県病院協会	会長	
委員	矢後 綾子	認定特定非営利活動法人オレンジティ	副理事長	
委員	山本 貴道	聖隷三方原病院	病院長	

協議事項

第4次静岡県がん対策推進計画 の進行管理について

【協議 1】第 4 次静岡県がん対策推進計画の進行管理

1 概要

2024（令和 6）年 3 月に策定した「第 4 次静岡県がん対策推進計画」（計画期間：2024（令和 6）年度～2029（令和 11）年度）の 2024（令和 6）年度における全体目標及び個別目標の進捗状況について取りまとめた。

2 進捗状況

全体目標	「がんを患う県民を、減らし、見つけ、治し、支える静岡県」
目標達成のための 4つの柱	I がんの予防と早期発見の推進
	II 患者一人ひとりに合わせたがん医療の実現
	III がん患者とその家族の安心できる暮らしの支援
	IV 将来につながるがん対策の基盤づくり

（1）全体目標を達成するための各数値目標における進捗状況

目標	項目	基準値	最新値	目標値 (2029年)
目標 1 喫煙する県民の 割合を減らします。	20歳以上の者の喫 煙率	男性25.9% 女性 7.6% (2022年)	男性25.9% 女性 7.6% (2022年)	男性20% 女性 5% (2035年)

【協議 1】第 4 次静岡県がん対策推進計画の進行管理

目標	項目	基準値	最新値	目標値 (2029年)
目標 2 がんが早期に 見つかる県民を 増やします。	がん検診のある 5 つ のがんの県内の 罹患者のうち、 上皮内がん※1及び 限局がん※2の罹患 者の占める割合	胃がん 54.0% 肺がん 35.7% 大腸がん 55.8% 乳がん 62.8% 子宮頸がん76.2% (2020年)	胃がん 54.0% 肺がん 35.7% 大腸がん 55.8% 乳がん 62.8% 子宮頸がん76.2% (2020年)	胃がん 65.0% 肺がん 45.0% 大腸がん 65.0% 乳がん 70.0% 子宮頸がん85.0%
目標 3 がんで亡くなる 県民の増加を抑 えます。	県内の年間 がん死亡者数	11,035人 (2022年)	<u>11,035人</u> (2023年)	11,800人 (推計値は 11,900人である ため100人減)
目標 4 がんで亡くなる 県民の地域差を 減らします。	対県標準化 死亡比※3 最大の地域と最小 の地域の比較倍率	1.28倍 (2017～ 2021年)	<u>1.26倍</u> (2018～ 2022年)	1.20倍

※1 上皮内がん：上皮内腫瘍とも呼ばれ、がん細胞が臓器の表面を覆っている上皮までにとどまっているがんのこと。

2 限局がん：最初に発生した原発部位から広がっておらず、限られた狭い範囲にのみ発生しているがんのこと。

3 標準化死亡比：県の死亡率をある市町に当てはめた際に計算されるその病気による死亡者数と、その市町でのその病気による実際の死亡者数を比較したもの。数値が100より大きい場合は、県よりもその病気による死亡者が多いといえる。

【協議 1】第 4 次静岡県がん対策推進計画の進行管理

目標	項目	基準値	最新値	目標値 (2029年)
目標 5 がん患者の生活 の質の維持・向 上を目指します。	長期療養者就職 支援事業における がん患者失職率	51.0% (2022年)	<u>35.8%</u> (2023年)	30.0%未満
	現在自分らしい日 常生活を送れてい ると感じるがん患者 の割合	70.5% (2018年)	<u>79.0%</u> (2023年)	改善
目標 6 県内各学校で適 切ながん教育を 実施します。	学校保健計画に位 置づけたがん教育を 実施した小学校・ 中学校・高等学校 の割合	44.0% (2021年)	<u>51.1%</u> (2022年)	100%

下線部は、最新値が更新された数値

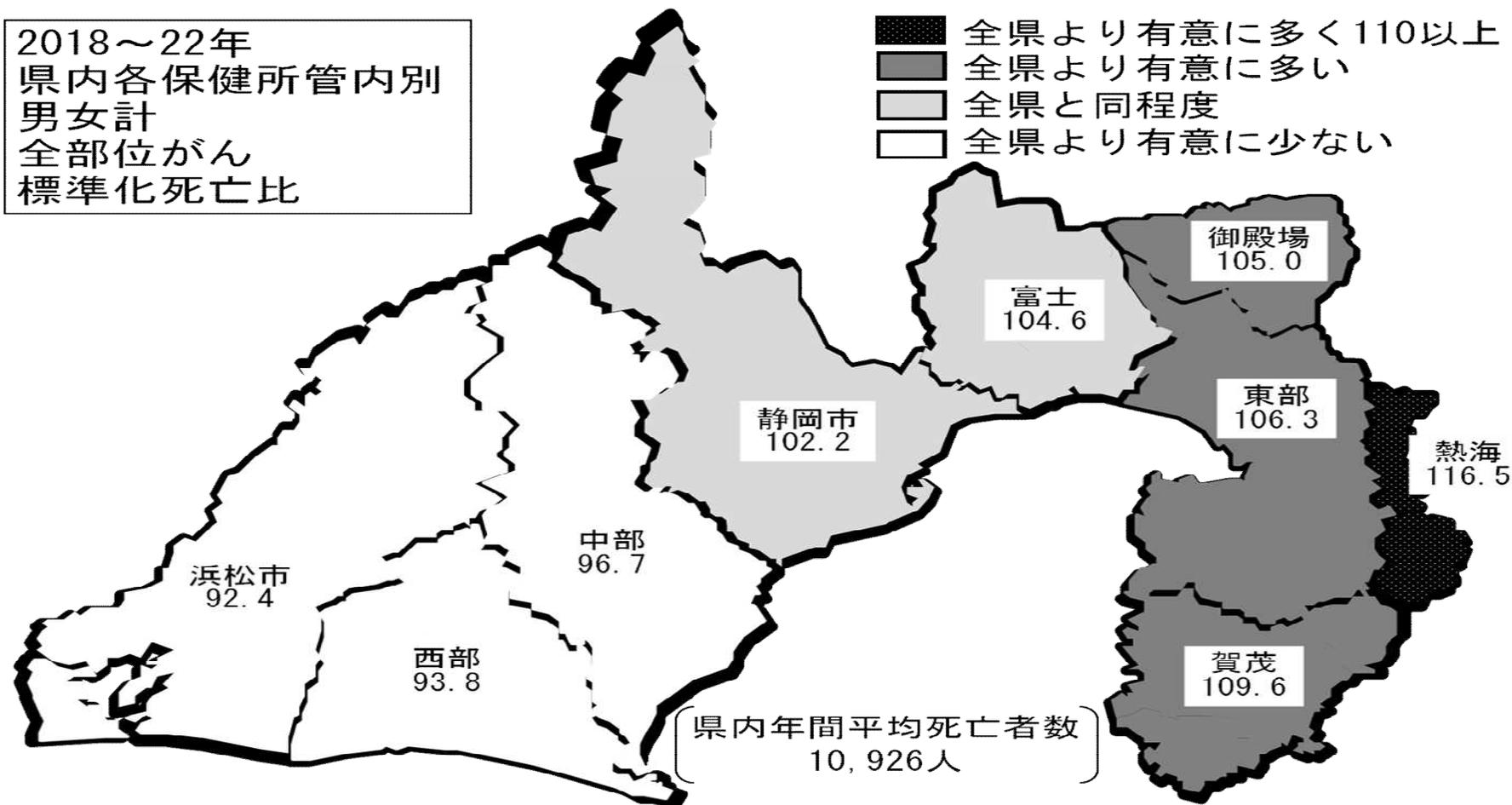
【協議 1】第 4 次静岡県がん対策推進計画の進行管理

【目標 4 の参考図】

(2024年度) (2018~2022年) 1.26倍 (熱海116.5/浜松市92.4)

2018~22年
県内各保健所管内別
男女計
全部位がん
標準化死亡率

- 全県より有意に多く110以上
- 全県より有意に多い
- 全県と同程度
- 全県より有意に少ない



【協議 1】第 4 次静岡県がん対策推進計画の進行管理

(2) 各戦略の数値目標（計23）について基準値からの進捗状況

区 分		2024年度
目標達成		3
目 標 未達成	数値改善	9
	現状維持	2
	数値悪化	4
評価不能※		5
計		23

- ・肥満者の割合（40～60歳代男性、女性）…P15
- ・肝炎ウイルス検査の受検者数…P17
- ・国・県指定病院等に勤務する医師のうち、緩和ケア研修会を修了した者の割合…P35
- ・がん患者の就労支援に関する研修受講者数…P42

※評価不能は、最新統計未更新による

【協議 1】第 4 次静岡県がん対策推進計画の進行管理

3 具体的な戦略の状況（目標への進捗状況については、基準値から変動あるものに限って記載）

I がんの予防と早期発見の推進

1 たばこ対策の強化

（2024年度上半期の取組等）

- 喫煙防止対策として、禁煙治療ができる医療機関や禁煙支援薬局等の情報収集・提供、保健指導従事者や事業所担当者等に対する禁煙支援に関する研修会の開催、地域薬剤師会と連携した薬局における禁煙相談を推進した。（健康増進課）
- 世界禁煙デーに合わせ、キャンペーンを実施し、喫煙による健康への害や禁煙について啓発した。（健康増進課）
- 県作成の妊婦及び乳幼児の保護者向けのたばこに関するリーフレットを市町における健診等の機会を通じて配布した。（健康増進課）
- 「健康増進法の一部を改正する法律」（2020年4月1日全面施行）及び「静岡県受動喫煙防止条例」（2019年4月1日全面施行）に基づく受動喫煙防止対策について周知普及を図るとともに、各種施設における対策の徹底に向けた相談対応、助言指導した。（健康増進課）
- 県内全ての小学校5年生に喫煙防止（防煙）に関する新しい下敷きを配布した。（疾病対策課・静岡がんセンター・健康体育課）

【協議 1】第 4 次静岡県がん対策推進計画の進行管理

- 県教育委員会では、がん教育を通じ、小学生、中学生、高校生に対し、たばこの害等について指導するとともに、喫煙防止教育を推進した。（健康体育課）
- 県内全ての小学校の 5 年生又は 6 年生、中学生及び高校生を対象とした薬学講座を、全校（905校）で開催することを予定しており、学校薬剤師等により、たばこの害等について、知識の普及を図っている。（薬事課、健康体育課）

（目標への進捗状況）

- 喫煙により補導される中高生の減少を目指します。

項目	基準値 (2022年)	昨年度 (2023年)	最新値 (2023年)	目標値 (2029年)	進捗状況
喫煙により補導される 中高生の人数	826人	766人	766人	0人	数値改善

出典：「丘の子どもたち」静岡県警察本部生活安全部人身安全少年課少年サポートセンター

⇒ 喫煙により補導される学生的人数は、目標値には達していないが、基準値からは減少している。

【協議 1】第 4 次静岡県がん対策推進計画の進行管理

○ 肺がんの年齢調整罹患率30.0以下を目指します。

項目	基準値 (2019年)	昨年度 (2020年)	最新値 (2020年)	目標値 (2029年)	進捗状況
肺がんの年齢調整罹患率(10万人あたり)	37.8	35.0	35.0	30.0以下	数値改善

出典：静岡県がん登録

⇒ 関係機関と連携の上、喫煙防止・受動喫煙防止対策を推進し、肺がんの年齢調整罹患率の改善を図る。

○ 受動喫煙の機会を有する者の割合の減少を目指します。

項目	基準値 (2022年)	昨年度 (2022年)	最新値 (2022年)	目標値 (2029年)	進捗状況
受動喫煙の機会を有する者の割合	職場 21.1%	職場 21.1%	職場 21.1%	職場 0%	評価不能
	家庭 6.6%	家庭 6.6%	家庭 6.6%	家庭 3%	
	飲食店 22.4%	飲食店 22.4%	飲食店 22.4%	飲食店 15%	

出典：健康に関する県民意識調査

⇒ 関係機関と連携の上、喫煙防止・受動喫煙防止対策を推進し、受動喫煙の機会を有する者の割合の改善を図る。

【協議 1】第 4 次静岡県がん対策推進計画の進行管理

2 生活習慣の改善

(2024年度上半期の取組等)

- 食育月間（6月）食育の日（毎月19日）健康増進普及月間（9月）等に、県民の食生活の改善を促す普及啓発キャンペーン等を実施した。（健康増進課）
- 市町、食生活推進協議会等の団体への支援、協働した取組を実施するほか、保健指導や健康相談等による適切な支援に向けた保健指導従事者等への研修を行った。（健康増進課）
- 働く世代を対象として、社員食堂やスーパーマーケット等での「しずおか健幸惣菜」の提供促進、企業と連携した県民の野菜摂取を増やす取組を行った。（健康増進課）
- 県教育委員会では、小学5年生、中学1年生に食育啓発リーフレット「朝ごはん食べていますか？」を配付し生活習慣の改善を促した。（健康体育課）

(目標への進捗状況)

- 肥満者（BMI25以上）の割合の減少を目指します。

項目	基準値 (2020年)	昨年度 (2020年)	最新値 (2021年)	目標値 (2035年)	進捗状況
40～60歳代の 肥満者の割合	男性35.7% 女性20.6%	男性35.7% 女性20.6%	男性35.8% 女性20.8%	男性30%未満 女性15%未満	数値悪化

出典：特定健診データ分析

- ⇒ 基準値より数値が男性0.1%、女性0.2%悪化している。2023年に新たに事業所向けに作成した「働く人の生活習慣改善プログラム」の普及啓発に取り組んでいく。

【協議 1】第 4 次静岡県がん対策推進計画の進行管理

3 がんの原因となる感染症対策の推進

(2024年度上半期の取組等)

- 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業（2018年12月開始）による医療費の助成を行った。（感染症対策課）
- 第 4 期静岡県肝疾患対策推進計画の策定に伴い、各地域において、肝炎ウイルス検査の受検勧奨等の更なる促進を図るため、肝炎ウイルス検査の受検勧奨等を地域や職域で中心となって進める「肝炎医療コーディネーター」について、全ての拠点病院、保健所及び市町への配置を進めるとともに、県内のどの地域でも適切に相談を受けられるよう、2028年度末までに県内全市町の医療機関に肝炎医療コーディネーターを 1 人以上配置することを目標として定めた。（感染症対策課）
- 静岡県肝炎医療コーディネーター養成研修会を開催した。（感染症対策課）
(2024年 3 月 31 日現在の肝炎医療コーディネーター数：504人)

【協議 1】第 4 次静岡県がん対策推進計画の進行管理

(目標への進捗状況)

- B型・C型肝炎ウイルス検査の受検者数を増やし、陽性者を発見して医療につなげることで、肝がんの罹患者数を減少させます。

項目	基準値 (2021年)	昨年度 (2022年)	最新値 (2022年)	目標値 (2029年)	進捗状況
肝炎ウイルス検査の 受検者数	<u>B型</u> 33,235人 <u>C型</u> 33,642人	B型 32,459人 C型 32,826人	<u>B型</u> 32,459人 <u>C型</u> 32,826人	B型C型共に 4万人以上	<u>数値悪化</u>

出典：特定感染症検査等事業実績報告(H28、R3)、健康増進事業実績報告(H28)、地域保健・健康増進事業報告(R3、R4)

⇒ 肝炎ウイルス検査受検者数は、2020年以降コロナ禍により保健所検査が大きく減少し、基準値のB型33,235人、C型33,642人から2022年度は、B型32,459人、C型32,826人となった。肝炎医療コーディネーターを増員するなどし、未受検者への声かけ等を一層強化することにより、受検者数の増加を目指す。

【協議 1】第 4 次静岡県がん対策推進計画の進行管理

4 がん検診の受診率向上と精度管理の推進

(2024年度上半期の取組等)

- 静岡県対がん協会と協力し、各市町の健康イベント等において、がん検診を受診することの必要性を県民に訴えたほか、乳がん自己検診法講習会や巡回指導等も併せて実施した。(疾病対策課)
- 協定企業・団体(令和6年10月に2企業と新たに協定を締結し49企業・団体となった。)と協働し、金融機関や小売業等、店頭でのリーフレット配付やがん検診受診キャンペーンによる啓発活動を推進した。(疾病対策課)
- 2024年9月に、「がん征圧大会」を開催した。静岡がんセンター小野裕之病院長に「がん医療の最前線」～胃がんを通してみる検診から治療まで～を、作家の室井佑月氏に「がん経験を通して伝えたいこと」について講演いただき、広く県民に対し、がんに関する正しい知識を普及するとともに、がんの早期発見・早期治療の重要性を啓発した。(疾病対策課)
- 2024年9月に、市町のがん検診担当者研修会を開催し、静岡社会健康医学大学院大学山本精一郎教授に「がん検診受診率向上に関する取組」について講演いただくとともに、市町の事例紹介を行った。また、静岡がんセンター小野裕之病院長兼内視鏡科部長に胃がん検診について、浜松医科大学産婦人科学講座柴田俊章助教に子宮がん検診について講演いただき、市町のがん検診の受診率と精度管理の向上を図った。(疾病対策課)

【協議 1】第 4 次静岡県がん対策推進計画の進行管理

(目標への進捗状況)

○ 検診 5 がんの精密検査受診率90%以上を目指します。

項目	基準値				昨年度	最新値	目標値	進捗状況
	2017年	2018年	2019年	2020年	2020年	2021年	2029年	
胃がん検診	73.0%	72.2%	71.0%	73.2%	73.2%	77.0%	各がん 検診 90% 以上	数値改善
肺がん検診	81.8%	83.3%	82.1%	84.2%	84.2%	86.3%		
大腸がん検診	65.9%	64.9%	66.6%	69.4%	69.4%	69.9%		
乳がん検診	74.0%	82.4%	84.5%	86.4%	86.4%	89.2%		
子宮頸がん検診	60.5%	66.7%	64.4%	64.3%	64.3%	76.3%		

出典：地域保健・健康増進事業報告

⇒ 精密検査受診率は、前年度を上回ったが、目標値である90%には達していないため、引き続き精密検査を受診する意義等について、受診者に理解を得られるように努め、精密検査の受診促進に取り組む。

【協議 1】第 4 次静岡県がん対策推進計画の進行管理

Ⅱ 患者一人ひとりに合わせたがん医療の実現

5 がん診療連携拠点病院等の整備

(2024年度上半期の取組等)

- 国の新たな「がん診療連携拠点病院等の整備に関する指針」(2022年8月)に基づいたがん診療連携拠点病院等の指定が2023年4月1日から始まった。県内では、13病院が指定されている。(疾病対策課)
- 県独自制度による静岡県地域がん診療連携推進病院を7施設、がん相談支援センター設置病院を2施設指定している。(疾病対策課)
- 静岡県がん診療連携協議会の下部にある相談支援部会をWeb方式で開催し、国の部会の議事内容報告、各病院の課題、先進的な取組等の共有化、患者家族への情報提供のための方法等について、議論した。(静岡がんセンター)
- 静岡がんセンターでは、県民向け公開講座「静岡がんセンター公開講座2024」を現地及びオンラインのハイブリッド方式で開催し、「知っておきたいがん医療の今」と題し、がんの最新治療等についての講演を行った。(7月～11月 全5回) (静岡がんセンター)

【協議 1】第 4 次静岡県がん対策推進計画の進行管理

6 手術療法、放射線療法、薬物療法及び免疫療法の推進

(2024年度上半期の取組等)

- 2024年9月末までに、「がん医療均てん化推進事業費助成」により、静岡がんセンターの手術支援ロボット「ダヴィンチ」ほか 6 病院の設備整備に係る補助金交付申請等に対して交付決定を行った。(疾病対策課)
- がん細胞の表面にあらわれる特徴的なたんぱく質に結合する薬剤を投与し、ある波長の光(レーザー光)を当て、がん細胞を死滅させるアルミノクス治療を頭頸部のがん治療に導入した。(静岡がんセンター)
- 正常組織への照射リスクを抑えられる陽子線治療において、2024年4月より保険診療に追加された早期肺癌(I期からII A期まで)治療に対応した。(静岡がんセンター)
- 新規抗悪性腫瘍薬(抗がん薬)の早期臨床開発をより安全に、かつ迅速に進めるため、「新規治療開発科」を新設し、複数の診療科が関わる臓器横断的な早期臨床開発を専門とする実施体制を整えた。(静岡がんセンター)
- 静岡がんセンターでは、甲状腺腫瘍の治療として、内視鏡治療を開始した。(静岡がんセンター)

【協議 1】第 4 次静岡県がん対策推進計画の進行管理

(目標への進捗状況)

- 診療報酬の施設基準を満たした放射線療法チームが設置された国・県指定病院等を 20施設整備します。
- 専門性が高く、効果的な薬物療法を安全に実施できるがん薬物療法専門医を国・県指定病院等に配置します。

項目	基準値 (2022年)	昨年度 (2023年)	最新値 (2024年)	目標値 (2029年)	進捗状況
放射線治療専任加算 の施設基準届出病院 数	15施設	18施設	18施設	21施設	数値改善
がん薬物療法専門医 が常勤する国・県指定 拠点病院等数	7施設	7施設	7施設※	13施設	現状維持

※静岡がんセンター、県立総合病院、浜松医科大学医学部附属病院、聖隷浜松病院、浜松医療センター、
磐田市立総合病院、中東遠総合医療センター

出典：東海北陸厚生局ホームページ、県疾病対策課調べ

⇒ がん薬物療法専門医が常勤する国・県指定拠点病院等数は、基準値から 3 施設増加し、18施設になった。がん薬物療法専門医が常勤する国・県指定病院等数は、基準値と同数であった。

【協議 1】第 4 次静岡県がん対策推進計画の進行管理

7 がんゲノム医療体制の構築とプロジェクトHOPEの推進

(2024年度上半期の取組等)

- 2020年4月1日から、静岡がんセンターが、がんゲノム医療の中心的役割を果たす病院として、がんゲノム医療中核拠点病院に指定されている。(静岡がんセンター)
※現在、がんゲノム医療中核拠点病院は全国で13施設指定
- がんゲノム医療連携病院として、県内7つのがん診療連携拠点病院が、静岡がんセンターと連携している。また、県立こども病院は、国立成育医療研究センター(がんゲノム医療拠点病院)と連携している。(静岡がんセンター)
- 2014年1月に開始した「プロジェクトHOPE15」には、2024年9月1日現在、12,689症例が参加し、11,623症例の解析を行っている。(静岡がんセンター)
- 遺伝子パネル検査が公的医療保険の適用となった2019年6月以降、複数の専門家で構成されるエキスパートパネルを概ね40人の医師・看護師・研究者参加のもと計226回実施している。(2024年9月30日現在) (静岡がんセンター)
- AMED(日本医療研究開発機構)の「がん全ゲノム解析等の患者還元の拡大および創薬や治療法等の創出をめざした研究」に、静岡がんセンターの研究テーマ「10,000症例マルチオミクス解析の経験にもとづく、全ゲノム解析の患者還元に関する研究」が採択され、2022年度から4年間の研究を行っている。(静岡がんセンター)

【協議 1】第 4 次静岡県がん対策推進計画の進行管理

(目標への進捗状況)

- がんゲノム医療を実施することが可能な体制を整備します。

項目	基準値 (2022年)	昨年度 (2023年)	最新値 (2024年)	目標値 (2029年)	進捗状況
県内のがんゲノム医療 中核拠点病院及び がんゲノム医療連携病 院の数	9施設	9施設	10施設※	12施設	数値改善

出典：県疾病対策課調べ

※10月1日より静岡市立静岡総合病院が追加、その他9施設は、静岡がんセンター、県立総合病院、県立こども病院、浜松医科大学医学部附属病院、聖隷三方原病院、浜松医療センター、聖隷浜松病院、藤枝市立総合病院、磐田市立総合病院

⇒ 国の指針に基づくがんゲノム医療を実施することが可能な県内のがん診療連携拠点病院等の数は1施設増加し、10施設となった。引き続き、機器整備への助成を行うほか、がんゲノム医療中核拠点病院である静岡がんセンターを中心に関連病院と連携を密にし、人材育成に努める。

【協議 1】第4次静岡県がん対策推進計画の進行管理

8 医療安全対策の推進

(2024年度上半期の取組等)

- 国の「がん診療連携拠点病院等の整備に関する指針」(2022年8月)に基づき、県内13の全ての国指定病院で、要件の充足を確認している。(疾病対策課)

9 多職種チーム医療の推進

(2024年度上半期の取組等)

- 静岡県がん診療連携協議会の下部組織に支持療法部会、相談支援部会、緩和ケア部会、小児・AYA世代がん部会、がんゲノム医療部会及び希少がん部会の6つの部会を設置し、部会ごとにWeb方式の会議を開催し、静岡がんセンターで進めてきた多職種チーム医療について、ノウハウ・意識を共有した。
(再掲 5がん診療連携拠点病院等の整備) (静岡がんセンター)
- 医科歯科連携推進委員会を開催し、医科歯科連携の課題及び病院歯科が設置されていない地域医療支援病院との医科歯科連携体制の整備について協議し、がん診療連携拠点病院等と院内外の歯科医師との医科歯科連携の強化を図った。
(静岡がんセンター)

【協議 1】第 4 次静岡県がん対策推進計画の進行管理

10 がんに関するリハビリテーション・形成外科・補填医療の普及

(2024年度上半期の取組等)

- 「若年がん患者等支援事業費助成」として、がん患者医療用補整具（医療用ウィッグ、補整下着、人工乳房）購入支援制度により、がん患者を支援した。（疾病対策課）

11 がん治療に伴う支持療法の推進

(2024年度上半期の取組等)

- 訪問看護ステーションの看護師等を対象に、リンパドレナージの技術の修得のための研修会を、東・中・西部の3会場で開催している。（疾病対策課）
- 静岡県がん診療連携協議会の下部組織に支持療法部会を設置し、がん治療に伴う支持療法の推進に取り組んでいる。（静岡がんセンター）

【協議 1】第 4 次静岡県がん対策推進計画の進行管理

(目標への進捗状況)

○ 国・県指定病院等は、ストーマ外来及びリンパ浮腫外来を整備します。

項目	基準値 (2023年)	昨年度 (2023年)	最新値 (2024年)	目標値 (2029年)	進捗状況
ストーマ外来及びリンパ浮腫外来を設置している国・県指定病院等の施設数	11施設	11施設	12施設	23施設	数値改善

出典：県疾病対策課調べ

⇒ ストーマ外来及びリンパ浮腫外来を設置している国・県指定病院等は、基準値から 1 施設増加し、12施設となった。

【協議 1】第 4 次静岡県がん対策推進計画の進行管理

12 希少がん、難治性がん治療のための連携の推進

(2024年度上半期の取組等)

- 国立がん研究センターがん情報サービスが実施している「施設別がん登録件数検索システム」を活用し、希少がんの医療機関情報などの情報提供を適宜行っている（県内では、静岡がんセンターと聖隷浜松病院が同システムに登録）。（静岡がんセンター）
- がん診療連携拠点病院の相談員が、「施設別がん登録件数検索システム」活用のための説明会・ワークショップに参加し、相談・情報提供の質の向上を図った。（静岡がんセンター）
- がん診療連携拠点病院等では、希少がんや難治性がんの患者に、適切な緩和ケア等を実施した。（疾病対策課）
- 静岡県がん診療連携協議会のホームページで、各がん診療連携拠点病院が担う希少がんへの対応可能情報をワンクリックで確認できるようにするとともに、治療実績の公開準備をすすめており、県民・患者家族への情報提供体制の充実を図っている。（静岡がんセンター）

13 小児がん、A Y A 世代のがん医療の整備

(2024年度上半期の取組等)

A 小児がん

- 2023年4月1日から、県立こども病院が、全国に15施設ある国の小児がん拠点病院に引き続き、指定された。(疾病対策課)
- 小児がんへの理解と小児・AYA世代がん患者とその家族への支援を呼び掛けるため、「国際小児がんデー(2月15日)」に合わせて、ライトアップ(ゴールド)を実施している。(疾病対策課)
- 小児がんの早期発見と診断につながるよう、2019年8月に患者団体の協力のもと、静岡県がん診療連携協議会小児・A Y A 世代がん部会にて、「小児がん診断ハンドブック 静岡県版」を作成している。また、ハンドブックのPDFデータを提供し、電子カルテへの掲載等の活用を依頼するとともに、県ホームページに掲載している。(疾病対策課、静岡がんセンター)

【協議 1】第 4 次静岡県がん対策推進計画の進行管理

B A Y A 世代（思春期・若年成人）のがん

- 「若年がん患者等支援事業費助成」として、妊孕性温存治療（精子、卵子、受精卵又は卵巣組織の凍結保存）及び温存後生殖補助医療（凍結した精子、卵子又は受精卵を用いた生殖補助医療）を受けたがん患者を支援している。（疾病対策課）
- 「若年がん患者等支援事業費助成」として、小児・若年がん患者在宅療養生活（訪問介護、訪問入浴介護、福祉用具貸与・購入）支援制度により、終末期がん患者を支援している。（疾病対策課）
- 妊孕性温存治療支援については、2021年度から国の「小児・A Y A 世代のがん患者等の妊孕性温存療法研究促進事業」が開始されたが、県制度と支援内容や対象に相違があったことから、県では、現行の補助水準を維持するため、県独自の補助を実施し、若年がん患者を支援している。（疾病対策課）

【協議 1】第 4 次静岡県がん対策推進計画の進行管理

(目標への進捗状況)

- こども病院を中核とした県内の小児がん医療体制を継続します。

項目	基準値 (2023年)	昨年度 (2023年)	最新値 (2024年)	目標値 (2029年)	進捗状況
小児がん拠点病院及び小児がん連携病院の数	4 施設	4 施設	4 施設	4 施設	目標達成

出典：県疾病対策課調べ

⇒ 引き続き、県立こども病院が国の小児がん拠点病院に指定されるよう院内体制の充実を図る取組を支援する。

【協議 1】第 4 次静岡県がん対策推進計画の進行管理

14 高齢者のがん医療の推進

(2024年度上半期の取組等)

- 静岡がんセンターでは、手術支援ロボット「ダヴィンチ」を用いた手術や内視鏡手術に加えて、高精度放射線治療を導入し、低侵襲治療の中心施設としての機能を果たしている。
(静岡がんセンター)
- 静岡がんセンターでは、診療時に高齢者機能評価(G8)を用いたスクリーニングシステムを導入することとし、準備を進めている。(静岡がんセンター)

15 病理診断の均てん化

(2024年度上半期の取組等)

- 静岡県病理医会症例検討会等において、希少症例及び診断困難症例を中心とした症例検討を行い、症例情報や診断法を共有するなど病理診断の均てん化を図っている。
(静岡がんセンター)

【協議 1】第 4 次静岡県がん対策推進計画の進行管理

16 がん登録の活用

(2024年度上半期の取組等)

- 静岡県がん登録協議会を設置（令和 6 年 3 月 28 日）し、令和 6 年 12 月 3 日に、協議会を開催した。（疾病対策課）

(目標への進捗状況)

- 全国がん登録の高い精度を維持します。

項目	基準値 (2020年)	昨年度 (2020年)	最新値 (2020年)	目標値 (2029年)	進捗状況
がん登録における全部 位がんのDCN割合	3.1%	3.1%	3.1%	20%未満	目標達成
がん登録における全部 位がんのDCO割合	2.4%	2.4%	2.4%	10%未満	
がん登録における全部 位がんのMI比	0.42	0.42	0.42	0.4以上 0.45以下	

DCN : がん死亡の情報のみで登録された割合

DCO : がん死亡の情報のみで登録され、追加調査を行っても詳細が不明な割合

MI比 : 一定期間におけるがん死亡数とがん罹患数に対する比

出典：全国がん登録

⇒ 全ての項目で目標を達成しているが、引き続き、精度の高い全国がん登録を着実に実施し、効果的ながん対策に活用できるよう情報提供に努める。

【協議 1】第4次静岡県がん対策推進計画の進行管理

17 臨床試験（治験）の充実

2024年度上半期の取組等）

- 静岡がんセンターを中心に、地域がん診療連携拠点病院と連携し、がん領域の治験実施体制の強化を図った。（静岡がんセンター）
- 県内26病院で構成する静岡県治験ネットワークでも、治験従事者を対象に講習会を開催し、各病院の治験実施体制の充実を支援している。（薬事課）
- 静岡がんセンターでは、早期相の国際共同治験にも対応すべく、2024年4月から、新規治験開発科を立ち上げ、専用病棟の運用を開始した。（静岡がんセンター）

18 緩和ケアの充実

（2024年度上半期の取組等）

- 県内17のがん診療連携拠点病院等で緩和ケア研修会を開催し、医師、歯科医師、看護師、薬剤師などが受講している。（疾病対策課）
- 緩和ケア研修を修了した者の割合が低い病院に対し、より多くの職員が受講できるよう、個別に働き掛けを行った。（疾病対策課）
- 各地域薬剤師会では、薬剤師の在宅訪問が可能な薬局のリストを作成し、医療機関のほか関係者へ配布し、情報共有を図った。（薬事課）

【協議 1】第 4 次静岡県がん対策推進計画の進行管理

(目標への進捗状況)

- がん診療連携拠点病院等において、がん患者の主治医や担当医等、がん診療に携わる全ての医師が緩和ケア研修を修了します。
- 診療所医師の緩和ケア研修修了者の増加を目指します。

項目	基準値 (2022年)	昨年度 (2023年)	最新値 (2023年)	目標値 (2029年)	進捗状況
国・県指定病院等に勤務する医師のうち、緩和ケア研修会を修了した者の割合	74.3%	73.7%	73.7%	90%	数値悪化
診療所の医師のうち緩和ケア研修会を修了した者の累計人数	250人	255人	255人	380人	数値改善

出典：静岡県緩和ケア研修修了者名簿

⇒ 国・県指定病院等に勤務する医師のうち、緩和ケア研修会を修了した者の割合は、基準値を下回っている。緩和ケア研修を修了した者の割合が低い病院に対し、より多くの職員が受講できるよう、個別に働き掛けていく。

【協議 1】第 4 次静岡県がん対策推進計画の進行管理

19 相談支援の充実

(2024年度上半期の取組等)

- がん診療連携拠点病院等では、患者やその家族が利用しやすいように相談支援センターの環境整備を図った。(疾病対策課)
- 静岡県がん診療連携協議会の下部組織の相談支援部会において、特定の相談(妊孕性温存、がんゲノム医療、臨床試験、アピアランスケア、希少がん)の個々の医療機関における対応の標準化ができていることを確認した。また、相談者からフィードバックを得る方法について検討するワーキンググループを設置した。(静岡がんセンター)
- 各医療機関で開催されている患者サロン等の情報を、静岡県対がん協会が取りまとめ、リーフレットを関係機関に配架した。(疾病対策課)
- 静岡がんセンターでは、4つの柱(①診療の悩み、②身体の苦痛、③心の苦悩、④暮らしの負担)に分けられる悩みを有する患者、家族のケアに取り組むため、化学療法センター、支持療法センター、患者家族支援センター、よろず相談の4大センター及び全人的医療の実践のための機能としての支持療法をはじめとする9大機能体制で患者のサポートを行った。(静岡がんセンター)

【協議 1】第 4 次静岡県がん対策推進計画の進行管理

(目標への進捗状況)

- がん診療連携拠点病院等は、自院のがん相談支援センターについて、がん患者とその家族に周知並びに利用促進を図ります。

項目	基準値 (2022年)	昨年度 (2023年)	最新値 (2023年)	目標値 (2029年)	進捗状況
国・県指定病院等の 相談支援センター（県 内23施設）での年間 総相談件数	54,597件	54,807件	54,807件	64,000件	数値改善

出典：県疾病対策課調べ

- ⇒ 基準値を上回っているが、目標値の達成に向け引き続き、総相談件数の更なる増加を目指し、がん患者とその家族への周知を強化し、利用促進を図る。

20 医療連携の充実

(2024年度上半期の取組等)

- がん看護専門研修を開催し、県内の医療機関におけるアピアランスケアの推進を目的とした情報提供を行った。(静岡がんセンター)
- 静岡がんセンターの活動内容を県内外医療機関等へ提供するために広報紙「やまびこ」を発行した。また、予約待ちや手術待ちの期間や診療科の紹介等を掲載した「やまびこ Monthly」を毎月、発行している。(静岡がんセンター)
- がんの薬物治療に係る専門性を有する薬剤師が配置されている 4 薬局を、がん診療連携拠点病院等の専門医療機関等と連携して治療を支える専門医療機関連携薬局に認定している。(薬事課)

【協議 1】第 4 次静岡県がん対策推進計画の進行管理

21 県民に対するきめ細かな情報提供

(2024年度上半期の取組等)

- 「医療情報ネット（愛称「ナビイ）」により、各医療機関が行う定期報告を通じて、がん医療に関する年間手術件数や医療専門職の配置状況等の詳細な情報提供に努めている。
（医療政策課）
- 静岡がんセンターにおける取組を、報道機関への取材対応やプレスリリース、ホームページ等で積極的に情報提供を行った。（静岡がんセンター）
- 静岡がんセンターで作成した県民向け小冊子を、院内図書館や院内の通路等のイーゼルに配架し、手軽に手に取る形の情報提供を行った。また、患者、家族向け勉強会等も開催した。（静岡がんセンター）
- 地域の医療資源検索システム「あなたの街のがんマップ」を運用して、自宅周辺を始め県内の医療機関、薬局、訪問看護ステーション等の情報を提供している。
（静岡がんセンター）
- 静岡県がん診療連携協議会と協力して、小冊子「がんと診断されたあなたへがんと向き合うために ～静岡県版 道しるべ～」を作成し、市町、健康福祉センター、がん診療連携拠点病院等へ配布した。（静岡がんセンター）

【協議 1】第 4 次静岡県がん対策推進計画の進行管理

22 在宅医療の充実

(2024年度上半期の取組等)

- 在宅ターミナルケアを実施している訪問看護ステーションに所属する看護師等を対象に、在宅ターミナルケアの専門的な知識及び技術の修得のための研修会を、東・中・西部の3会場で開催している。(疾病対策課)
- 訪問看護ステーションの看護師等を対象に、リンパドレナージの技術の修得のための研修会を、東・中・西部の3会場で開催している。
(再掲 11がん治療に伴う支持療法の推進) (疾病対策課)
- 訪問看護ステーションに所属する看護師等の質の向上及び訪問看護ステーション間の連携強化のための研修会を、県内各地で開催している。(疾病対策課)
- 「若年がん患者等支援事業費助成」として、小児・若年がん患者在宅療養生活(訪問介護、訪問入浴介護、福祉用具貸与・購入)支援制度により、がん患者を支援している。
(再掲 13小児がん、AYA世代のがん医療の整備) (疾病対策課)
- 静岡がんセンターでは、在宅緩和ケアを推進するため、看護師等を対象とした研修会をWeb方式で開催した。(再掲18 緩和ケアの充実) (静岡がんセンター)
- 静岡がんセンターでは、地域の在宅医療・介護事業所スタッフとの面談やカンファレンスをオンラインで実施した。(静岡がんセンター)

23 就労のための支援

(2024年度上半期の取組等)

- 国が都道府県毎に設置する「地域両立支援推進チーム」に参画し、保健所と連携した県民や事業所の理解促進に向けた取組や参画機関開催の各種講習会への案内等を実施した。(疾病対策課)
- 家庭の事情と仕事の両立をテーマに経営者向けセミナーを開催する。(労働雇用政策課)
- 静岡がんセンターでは、沼津ハローワークと協働し、がん患者の就労相談会を毎月火曜日に開催した。(静岡がんセンター)
- 静岡がんセンターは、2021年1月1日付けで、静岡県産業保健総合支援センターと「治療と仕事の両立支援事業に係る協定書」を締結し、相談体制の強化を図っている。(静岡がんセンター)

【協議 1】第 4 次静岡県がん対策推進計画の進行管理

(目標への進捗状況)

- すべてのがん診療連携拠点病院等で就労相談を実施できる体制を目指します。

項目	基準値 (2022年)	昨年度 (2023年)	最新値 (2024年)	目標値 (2029年)	進捗状況
就労相談を実施する 国・県指定病院等の 施設数	17施設	17施設	17施設	全23施設	現状維持

出典：県疾病対策課調べ

⇒引き続き、実施施設の増加を目指し、がん患者やがん体験者の就労に関して適切な支援を行えるよう、がん相談支援センターの機能強化を支援するとともに、静岡県がん診療連携協議会の相談支援部会と連携し、就労支援に係るネットワークの強化を図っていく。

(目標への進捗状況)

- 就労相談の実施体制を充実させます。

項目	基準値 (2022年)	昨年度 (2023年)	最新値 (2023年)	目標値 (毎年度)	進捗状況
がん患者の就労支援 に関する研修受講者 数	<u>40人</u>	20人	<u>20人</u>	40人	<u>数値悪化</u>

出典：県疾病対策課調べ

⇒講習会開催方式をオンライン併用方式から実地方式に変更したため、受講者数が減少した。がん相談支援センター相談員ががん患者やがん経験者への就労支援を適切に行えるよう、開催方式の見直し等受講機会の確保に努めていく。

【協議 1】第4次静岡県がん対策推進計画の進行管理

24 患者団体等との連携・協働及び支援

(2024年度上半期の取組等)

- がん診療連携拠点病院等は、患者団体と連携し、患者サロン等を開催し、自由に語り合える機会の場を提供している。(疾病対策課)
- 静岡県対がん協会が行っているピア・サポーター研修を受けた者を、各がん相談支援センターが開催している患者サロン等に派遣した。(疾病対策課)
- 各医療機関で開催されている患者サロンの情報を、静岡県対がん協会が取りまとめ、リーフレットを関係機関に配架した。(再掲) (疾病対策課)
- 各相談支援センターでは、患者団体のリーフレットを配架するなどして、患者会の情報提供を適宜行い、がん患者・家族の相談経路の選択肢を広げている。(疾病対策課)
- 静岡県のがん教育を推進する会議体「がん教育に係る検討委員会」の委員として、がん経験者に参加いただき、がん教育に関する検討を行った。(健康体育課)
- 外部講師を活用したがん教育の推進のため、学校におけるがん教育外部講師への登録者を対象に、2024年11月に教職員と合同の研修会、2024年12月に研修会を計画している。(健康体育課)
- 【新規】がん患者団体リストを作成し、2024年8月に県ホームページにおいて公表した。(疾病対策課)

【協議 1】第 4 次静岡県がん対策推進計画の進行管理

IV 将来につながるがん対策の基盤づくり

25 ファルマバレープロジェクトを中心とする研究・開発の推進

(2024年度上半期の取組等)

- 高齢者の健康寿命を延伸し、健康寿命が尽きた後の自立を支援し、寿命が尽きるまで自立して過ごすことを可能にする「健康長寿・自立支援プロジェクト」を推進した。
(新産業集積課)
- 平成30年度から取り組んでいる「健康長寿・自立支援プロジェクト」のひとつの柱である「人生100年時代の住宅整備」の施策として、介護機器開発や施設・住居等への導入など社会実装に繋げ、共同研究室として活用するファルマバレーセンターにおいてモデルルーム「自立のための3歩の住まい」を広く県民に公開した。(新産業集積課)
- 地域の産学官の連携により、医療現場のニーズを踏まえた製品開発を進めている。
(新産業集積課)
- がん医療の飛躍的発展や地域企業の活性化、雇用創出を目指す「ふじのくに先端医療総合特区」では、2021年度から山梨県の7市町が本特区の区域に加わり、医療健康産業政策における山梨県との更なる連携を進めている。2023年度は、血液を検体とする研究用の検査「研究用リキッドバイオプシー」などが開発された。(新産業集積課)
- 静岡がんセンターは、ファルマバレープロジェクトの第4次戦略計画の「戦略3 “まちづくり”」の取組として、経済産業部とともに「静岡県医療田園都市構想」を推進した。
(静岡がんセンター)

【協議 1】第 4 次静岡県がん対策推進計画の進行管理

26 静岡がん会議

(2024年度上半期の取組等)

- 2024年度の静岡がん会議は、2025年3月に開催を予定している。

27 人材の育成

(2024年度上半期の取組等)

- がん検診に従事する医師を対象としたがん検診医師研修会を開催している。
乳がん検診に従事する医師、診療放射線技師を対象としたデジタルマンモグラフィの読影、撮影の講習会を開催している。
胃がん検診に従事する放射線技師を対象とした胃がん検診エックス線撮影従事者講習会を開催している。
がん検診細胞診に従事する細胞検査技師等を対象としたがん細胞診従事者講習会(肺がん、子宮がん)をしている。
(再掲 4 がん検診の受診率向上と精度管理の推進) (疾病対策課)
- 静岡がんセンターでは、がん対策ネットワークのメーリングリストの活用等により、県内がん診療連携拠点病院等や市町及び保健所及びがん検診受診率の向上のための協定を結んだ企業等へ、がん診療連携拠点病院等が実施する各種研修の情報提供を行った。
(静岡がんセンター)
- 静岡がんセンターでは、がん医療の様々な分野に必要な専門性の高い人材を育成している。
(静岡がんセンター)

【協議 1】第 4 次静岡県がん対策推進計画の進行管理

28 がん教育の推進

(2024年度上半期の取組等)

- 医療関係者、学識経験者、がん経験者、教育関係者を委員としたがん教育を推進する会議体「がん教育に係る検討委員会」を年 2 回の実施を計画し、がん教育の方向性、活用実践校の取組計画の確認等を行った。(健康体育課)
- 学校でのがん教育の充実を図ることを目的に、教職員と外部講師を対象としたがん教育研修会を2024年11月に計画している。(健康体育課)
- 学校に公開している外部講師(医療関係者)のリスト一覧の中から派遣依頼があった高等学校 1 校、特別支援学校 2 校に講師を派遣した。今後、中学校 1 校、高等学校 1 校、特別支援学校 2 校への講師派遣を計画している。(健康体育課)
- 【新規】県教育委員会に外部講師(がん経験者)として登録されている方を派遣依頼があった特別支援学校 1 校に派遣した。今後、小学校 2 校に 3 人、中学校 2 校に 3 人、高等学校 5 校に 5 人、特別支援学校 1 校に 1 人の講師派遣を計画している。
(健康体育課)
- 学校におけるがん教育を推進するために2024年 1 月に発出した「学校におけるがん教育の手引」を活用した実践の周知を図った。(健康体育課)
- 県内全ての小学校 5 年生に喫煙防止(防煙)に関する新しい下敷きを配布した。
(再掲・1たばこ対策の強化) (疾病対策課・静岡がんセンター・健康体育課)
- 静岡がんセンターで作成した県民向け小冊子を、院内図書館や院内の通路等のイーゼルに配架し、手軽に手に取る形の情報提供を行いました。また、患者、家族向け勉強会等も開催している。(再掲) (静岡がんセンター)

【協議 1】第 4 次静岡県がん対策推進計画の進行管理

- 静岡がんセンターでは、2024年度第 2 回公開講座(2024年 8 月31日)において、中高生を対象とした特別企画「10代から知っておきたいがんのお話」を開催し、645名の参加があった。(静岡がんセンター)

29 デジタル化の推進

(2024年度上半期の取組等)

- 「医療情報ネット(愛称「ナビイ」)」により、各医療機関が行う定期報告を通じて、がん医療に関する年間手術件数や医療専門職の配置状況等の詳細な情報提供に努めている。
(再掲・21県民に対するきめ細やかな情報提供) (医療政策課)

【協議 1】（参考）個別目標進捗状況

NO.	項目	基準値	最新値	目標値	進捗状況	出典
1	喫煙により補導される中高生の人数	826人 (2022年)	766人 (2023年)	0人 (2029年)	数値改善	「丘の子どもたち」 (静岡県警察本部生活安全部人身安全少年課)
2	肺がんの年齢調整罹患率(10万人あたり)	37.8 (2019年)	35.0 (2020年)	30.0以下 (2029年)	数値改善	全国がん登録
3	受動喫煙の機会を有する者の割合	職 場 21.1% 家 庭 6.6% 飲食店 22.4% (2022年)	職 場 21.1% 家 庭 6.6% 飲食店 22.4% (2022年)	職 場 0% 家 庭 3% 飲食店 15% (2029年)	評価不能	健康に関する 県民意識調査
4	20歳以上の県民の1日当たり野菜摂取量	285.1g (2022年)	285.1g (2022年)	350g以上 (2035年)	評価不能	県民健康 基礎調査
5	20歳以上の県民の1日当たり食塩摂取量(男性)	10.8g (2022年)	10.8g (2022年)	7.5g未満 (2022年)	評価不能	県民健康 基礎調査
	20歳以上の県民の1日当たり食塩摂取量(女性)	9.2g (2022年)	9.2g (2022年)	6.5g未満 (2022年)		

【協議 1】（参考）個別目標進捗状況

NO.	項目	基準値	最新値	目標値	進捗状況	出典
6	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している県民の割合（男性）	14.1% (2022年)	14.1% (2022年)	12% (2035年)	評価不能	県民健康 基礎調査
	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している県民の割合（女性）	6.9% (2022年)	6.9% (2022年)	6% (2035年)		
7	運動習慣のある県民の割合（男性）	40～64歳 26% 65～74歳 43% (2020年)	40～64歳 27% 65～74歳 43% (2021年)	40～64歳 30% 65～74歳 50% (2035年)	数値改善	特定健診 データ分析
	運動習慣のある県民の割合（女性）	40～64歳 18% 65～74歳 40% (2020年)	40～64歳 19% 65～74歳 40% (2021年)	40～64歳 30% 65～74歳 50% (2035年)		

【協議 1】（参考）個別目標進捗状況

NO.	項目	基準値	最新値	目標値	進捗状況	出典
8	40～60歳代の肥満者（BMI25以上）の割合（男性）	35.7% (2020年)	35.8% (2021年)	30%未満 (2035年)	数値悪化	特定健診 データ分析
	40～60歳代の肥満者（BMI25以上）の割合（女性）	20.6% (2020年)	20.8% (2021年)	15%未満 (2035年)		
9	肝炎ウイルス検査の受検者数	B型33,235人 C型33,642人 (2021年)	B型32,459人 C型32,826人 (2022年)	B型・C型それぞれ4万人以上 (2029年)	数値悪化	静岡県特定感染症検査等事業実績報告、地域保健・健康増進事業報告
10	胃がん検診受診率	43.2% (2022年)	43.2% (2022年)	各がん検診 60%以上 (2029年)	評価不能	国民生活 基礎調査
	肺がん検診受診率	54.4% (2022年)	54.4% (2022年)			
	大腸がん検診受診率	48.3% (2022年)	48.3% (2022年)			
	乳がん検診受診率	45.9% (2022年)	45.9% (2022年)			
	子宮頸がん検診受診率	44.0% (2022年)	44.0% (2022年)			

【協議 1】（参考）個別目標進捗状況

NO.	項目	基準値	最新値	目標値	進捗状況	出典
11	胃がん精密検査受診率	73.2% (2020年)	77.0% (2021年)	各がん検診 90%以上 (2029年)	数値改善	地域保健・健康 増進事業報告
	肺がん精密検査受診率	84.2% (2020年)	86.3% (2021年)			
	大腸がん精密検査受診率	69.4% (2020年)	69.3% (2021年)			
	乳がん検診精密検査受診率	86.4% (2020年)	89.2% (2021年)			
	子宮頸がん精密検査受診率	64.3% (2020年)	76.3% (2021年)			
12	国指定要件を満たすがん診療連携拠点病院及び地域がん診療病院の数	13施設 (2023年)	13施設 (2024年)	13施設 (2029年)	目標達成	疾病対策課調べ
13	放射線治療専任加算の施設基準届出病院数	15施設 (2022年)	18施設 (2024年)	21施設 (2029年)	数値改善	東海北陸厚生局 ホームページ
14	がん薬物療法専門医が常勤する国・県指定病院等数	7施設 (2022年)	7施設 (2024年)	13施設 (2029年)	現状維持	疾病対策課調べ

【協議 1】（参考）個別目標進捗状況

NO.	項目	基準値	最新値	目標値	進捗状況	出典
15	県内のがんゲノム医療中核拠点病院及びがんゲノム医療連携病院の数	9施設 (2022年)	10施設 (2024年)	12施設 (2029年)	数値改善	疾病対策課調べ
16	ストーマ外来及びリンパ浮腫外来を設置している国・県指定病院等の施設数	11施設 (2023年)	12施設 (2024年)	23施設 (2029年)	数値改善	疾病対策課調べ
17	小児がん拠点病院及び小児がん連携病院の数	4施設 (2023年)	4施設 (2024年)	4施設 (2029年)	目標達成	疾病対策課調べ
18	がん登録における全部位がんのDCN割合	3.1% (2020年)	3.1% (2020年)	20%未満 (毎年度)	目標達成	全国がん登録
	がん登録における全部位がんのDCO割合	2.4% (2020年)	2.4% (2020年)	10%未満 (毎年度)		
	がん登録における全部位がんのMI比	0.42 (2020年)	0.42 (2020年)	0.4以上 0.45以下 (毎年度)		

【協議 1】（参考）個別目標進捗状況

NO.	項目	基準値	最新値	目標値	進捗状況	出典
19	国・県指定病院等に勤務する医師のうち、緩和ケア研修会を修了した者の割合	74.3% (2022年)	73.7% (2023年)	90% (2029年)	数値悪化	疾病対策課調べ
20	診療所の医師のうち緩和ケア研修会を修了した者の累計人数	250人 (2022年)	255人 (2023年)	380人 (2029年)	数値改善	疾病対策課調べ
21	国・県指定病院等の相談支援センター(県内23施設)での年間総相談件数	54,597件 (2022年)	54,807件 (2023年)	64,000件 (2029年)	数値改善	疾病対策課調べ
22	就労相談を実施する国・県指定病院等の施設数	17施設 (2022年)	17施設 (2023年)	全23施設 (2029年)	現状維持	疾病対策課調べ
23	がん患者の就労支援に関する研修受講者数	40人 (2022年)	20人 (2023年)	40人 (毎年度)	数値悪化	疾病対策課調べ

全23項目中 目標達成 3 数値改善 9 現状維持 2 数値悪化 4 評価不能 5

報告事項

第1回静岡県がん対策推進協議会 書面開催結果

【報告1】 第1回静岡県がん対策推進協議会書面開催結果

第4次静岡県健康増進計画の策定(令和6年6月28日)に伴う、第4次静岡県がん対策推進計画における受動喫煙環境に係る目標値の変更案について、静岡県がん対策推進協議会において書面協議(令和6年7月17日～8月20日)を行った。

変更案に意見があった委員についても同意を得られたことから、令和6年9月30日に変更案のとおり計画を変更し、県ホームページで公表した。

＜変更前＞

○ 受動喫煙の機会を有する者の割合の減少を目指します。

項目	現状値 (2022年度)	目標値 (2035年度)
受動喫煙の機会を有する者の割合	家庭 6.6%	0%
	職場 21.1%	
	飲食店 22.4%	

出典：健康に関する県民意識調査 習慣的喫煙者でない者の受動喫煙の状況
「月1回程度」以上、「家庭」のみ「毎日」と回答した者の割合

＜変更後＞

○ 受動喫煙の機会を有する者の割合の減少を目指します。

項目	現状値 (2022年度)	目標値
望まない受動喫煙の機会(職場・家庭・飲食店)を有する者の割合	職場 21.1%	職場 0%
	家庭 6.6%	家庭 3%
	飲食店 22.4%	飲食店 15%

出典：健康に関する県民意識調査 習慣的喫煙者でない者の受動喫煙の状況
「月1回程度」以上、「家庭」のみ「毎日」と回答した者の割合

【報告1】 第1回静岡県がん対策推進協議会書面開催結果

委員からの主な意見

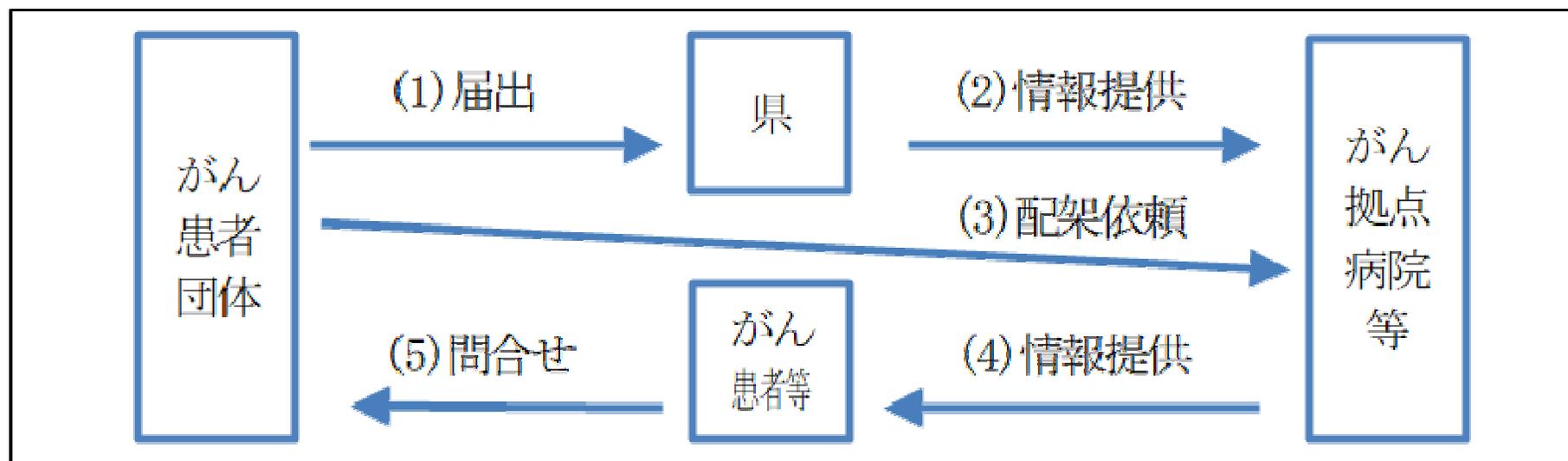
区分	意見の概要
目標値に係る意見	<ul style="list-style-type: none">・「受動喫煙の目標値」変更案に反対。がん計画は、健康増進計画の「下位計画」ではない。互いの目標値に整合性を求める必要はない。・家庭や飲食店は直近の微増や減少を根拠に現行目標を継続するとあるが、判断の「ものさし」がご都合主義である。・法律（で定め）のない家庭や飲食店こそ本計画で0%を目指すべきである。・受動喫煙は0%を掲げるべき。飲食店では禁煙を求めても良い。最終目標はがん対策であり目標緩和になじまない。・望まない受動喫煙はない社会を目指すのに、目標値が0でない、場所によって変えることは理解できない。・2035年度までに受動喫煙0%達成を強く希望。・中間評価の際に数値目標の見直しを強く希望。・職場においても、10%にするのが現実的。
目標値以外に係る意見	<ul style="list-style-type: none">・目標値に対して意見はないが、屋外イベント等での受動喫煙が心配である。

がん患者団体リストの公表

【報告2】 がん患者団体リストの公表

1 概要

令和5年度第2回静岡県がん対策推進協議会（令和5年11月）の意見を受け、「がん患者団体」からチラシの配架を求められた「がん拠点病院等」において参考としてもらうため、一定の条件を満たす「がん患者団体」のリストを県が作成し、令和6年8月に県ホームページで公表した。



【掲載団体の条件】

- ア 原則として無償又は必要最小限度の実費徴収でがん患者や家族等に対する支援活動を行っていること。
- イ 法令に違反する活動又は公序良俗に反する活動をしていないこと。
- ウ 活動の拠点が静岡県内にあること。
- エ 代表者、活動の目的及び運営方法が定款、規約又は会則等で定められていること。
- オ 医薬品や健康食品、サプリメント及び健康に関する物品の購入や商品の販売等、営利を目的とした活動をしておらず、また、科学的根拠に基づかない特定の治療法の推奨、斡旋をしていないこと。

【報告2】 がん患者団体リストの公表

2 県ホームページ掲載がん患者団体リスト

団体名	代表者	主たるがん種	活動内容
あけぼの静岡	星野 希代絵	乳がん	勉強会・研修会・講演会の開催、会報「コスモス通信」の発行、会員の集い「あけぼのハウス」の開催、等
乳がん患者会 あんだんて	清水 晴美	乳がん	医療者による講演会、専門家による免疫力を高める運動や食事の勉強会、おしゃべり会など
静岡県がん患者会 一步一步の会	大橋 勝彦	全てのがん種	<ol style="list-style-type: none"> 1. 交流サロンの定期開催（沼津市、三島市、裾野市） 2. 生き甲斐活動の実践（富士登山、森林セラピーさんぽなど） 3. 啓発活動（がん検診など）
認定NPO法人 オレンジティ	河村 裕美	子宮がん、卵巣がん、乳がんを主とするがん（女性限定）	静岡県内3か所での交流会や勉強会、オンラインでの交流会等
Talk space	高橋 ひとみ	がん種は問いません	月2回がん患者おしゃべりサロン開催

【報告2】 がん患者団体リストの公表

団体名	代表者	主たるがん種	活動内容
公益社団法人 日本オストミー協会 静岡県支部	増井 均	膀胱がん、直腸がん、大腸がん、潰瘍性大腸炎、クローン病	医療講演会、体験懇談会、会報の発行、よろず相談会（交流会）親睦会、日帰り旅行、装具の紹介展示、皮膚排泄ケア認定看護師との懇談会
浜松胃交会	長尾 哲夫	消化器がん	年4回患者同士の情報交換会
陽だまり	村田 由美子	乳がん	磐田市周辺地域での勉強会、ヨガ、イベント
静岡県立こども病院 ほほえみの会	池田 恵一	小児がん	毎月1回（第2日曜日午前10時）例会開催
マンマ・宮	中島 恭子	乳がん	乳がん患者さん達と2か月に一度のおしゃべり会、下着説明会、乳がん講演会

協定締結企業との連携

【報告3】 協定締結企業との連携

県民と接する機会の多い業種や、企業内でのがん検診受診促進に積極的に取り組む企業等と協定を締結し、県と企業等との連携・協働によるがん検診の受診促進に取り組んでいる。

業種	協定締結企業・団体	
農協	静岡県農業協同組合中央会	1 団体
銀行	遠州信用金庫、(株)静岡銀行、しずおか焼津信用金庫、(株)清水銀行、スルガ銀行(株)、浜松いわた信用金庫、三島信用金庫、静岡信用金庫	8 団体
生保	アフラック生命保険(株)、損保ジャパン日本興亜ひまわり生命保険(株)、東京海上日動あんしん生命保険(株)、住友生命保険相互会社静岡支社、住友生命保険相互会社沼津支社、住友生命保険相互会社浜松支社、ソニー生命保険(株)、明治安田生命保険相互会社静岡支社、明治安田生命保険相互会社浜松支社、大同生命保険(株)、第一生命保険(株)沼津支社、第一生命保険(株)静岡支社、第一生命保険(株)浜松支社、日本生命保険相互会社静岡支社、日本生命保険相互会社沼津支社、朝日生命保険相互会社静岡支社、オリックス生命保険(株)三井住友海上あいおい生命保険(株)静岡営業部、富国生命保険相互会社浜松支社	19 団体
損保	東京海上日動火災保険(株)、損害保険ジャパン日本興亜(株)	2 団体
鉄道	遠州鉄道(株)、伊豆急ホールディングス(株)、大井川鐵道(株)、天竜浜名湖鐵道(株)	4 団体
小売	イオンリテール(株)、(株)杏林堂薬局、(株)ビッグ富士、ユニー(株)、(株)静鉄ストア、中央静岡ヤクルト販売(株)、生活協同組合ユーコープ	7 団体
医療	アヴィ(同)、中外製薬(株)、オリンパスマーケティング(株)、 <u>テルモ(株)国内営業本部東海北陸ブロック静岡支店</u> 、※その他協議中 1 団体 (薬品卸)	4 団体
その他	(株)SBSプロモーション、(公社)沼津法人会、(株)ユーライフ、さわやか(株)	4 団体
	計	49 団体

下線部は新規

【報告3】 協定締結企業との連携（中外製薬）

デジタル市民公開講座「乳がんについて知っておきたいコト」の動画作成、公開

作成者	● 静岡県 ● 中外製薬株式会社 静岡支店 「がんの早期発見・早期治療の推進のための連携・協働に関する協定」締結企業
動画概要 (約16分)	講師：静岡県立静岡がんセンター 乳腺外科部長 西村誠一郎 先生 (https://youtu.be/NdVhhdA0k?si=9nXF4A_2LbVKIfEW)
動画公開日	令和6年10月1日（令和7年1月10日 18時時点 再生回数896回）

デジタル市民公開講座

乳がんについて知っておきたいコト

- ✓ 乳がんとはどのような病気？
- ✓ 乳がんはなぜ起こるの？
- ✓ 乳がんのリスクを減らすには？
- ✓ 診断と検診

このはキモンが約16分で解消！

乳がんは女性がかかるがんでは最も多くなっています。正しい知識を身につけて、早期発見・治療が重要となります。

乳がんについて動画でわかりやすく解説しています！

静岡県立 静岡がんセンター 乳腺外科 西村 誠一郎 先生

静岡県にお住まいの皆さまへ（患者より）
生涯のうち女性の9人に1人が乳がんになるとされています。
日頃から乳房の状態に関心を持ち生活することが大切です。

静岡県と中外製薬株式会社の「がん検診受診率向上のための企業等との協定」に基づく取り組み活動として制作しました。

静岡県 中外製薬

2024年10月作成

静岡県デジタル市民公開講座「乳がんについて知っておきたいコト」

静岡県立 静岡がんセンター 乳腺外科 部長 西村誠一郎先生

静岡県デジタル市民公開講座「乳がんについて知っておきたいコト」

ふじのくにメ... チャンネル登録者... チャンネル登録

896 回視聴 3 か月前 #乳がん #がん検診 #がんセンター

＜活用事例＞

- 市町の住民向け啓発
- 学校でのがん教育
- 協定企業の社員向け啓発

【報告3】 協定締結企業との連携（日本生命）

日本生命保険相互会社静岡支社の「がん検診受診勧奨活動」

実施者	<ul style="list-style-type: none">● 静岡県● 日本生命保険相互会社静岡支社 「がんの早期発見・早期治療の推進のための連携・協働に関する協定」締結企業
概要	<ul style="list-style-type: none">● 日本生命保険相互会社は、全国の顧客等を対象に、がん検診の重要性を啓発し、がん検診に関するアンケートを行う。● アンケートの結果は、全国の自治体に提供される。
調査期間	令和6年7月29日～11月24日 (令和5年度は7月24日から11月26日まで実施。回答者数 全国50.6万人)



静岡県がん登録協議会の設置・開催

【報告4】 静岡県がん登録協議会の設置・開催

がん登録等の推進に関する法律（平成25年法律第111号）第18条第2項に規定する審議会その他の合議制の機関として、令和6年3月28日に静岡県がん登録協議会（以下「協議会」という。）を設置した（静岡県がん登録協議会設置要綱）。

所掌事務

1 がん登録事業の運営に関わること

2 がん登録データの利用及び提供に関わること

法律等に定められた利用・提供の要件に適合するか協議
(1)行政的利用 県(第18条)、市町(第19条)
(2)研究的利用 研究者等(第21条第8項(顕名)、第9項(匿名))

3 その他必要な事項

○委員名簿（任期：2年（令和6年10月1日～令和8年9月30日））

役職	氏名	団体名等	区分
会長	寺島 雅典	静岡がんセンター副院長	がん、がん医療等又はがんの予防に関する学識経験のある者
副会長	児島 章	静岡県病院協会参与	
委員	秋山 欣丈	静岡県医師会理事	
委員	山本 精一郎	静岡社会健康医学大学院大学教授	
委員	山本 健一	静岡県弁護士会	個人情報保護に関する学識経験のある者

【報告4】 静岡県がん登録協議会の設置・開催

○令和6年度第1回協議会の開催結果

令和6年12月3日（火）に第1回協議会を開催し、静岡県知事からのがん登録情報提供申出を承認した。委員から、がん対策を推進するためにがん登録情報を活用すべきとの意見があった。

項目	概要
情報提供申出の目的	静岡県がん対策推進協議会等で使用する資料や静岡県におけるがん登録事業に係る報告書(2016～2020年症例)を作成するため
審査結果	事務局（疾病対策課）による形式点検後、「静岡県における全国がん登録情報の提供の審査の方向性」に基づいて審査した結果、情報提供することについて、承認した。

○今後の協議会開催スケジュール

申出期間	協議会	結果通知
1月から4月	6月頃	7月頃
5月から8月	10月頃	11月頃
9月から12月	2月頃	3月頃

HPVワクチンキャッチアップ接種経過措置

【報告5】 HPVワクチンキャッチアップ接種経過措置

1 要旨

HPVワクチンは、平成25年4月から、小学校6年から高校1年相当までの女子を対象とする定期接種となったが、接種の持続的な疼痛や運動障害などの報告が相次いだため、同年6月から対象者への個別案内などの積極的勧奨が差控えられた。

その後、安全性が確認されたことから、国は、令和4年4月1日から令和7年3月31日までを接種期間としていたところ、この夏以降の大幅な需要により、推奨された9月までの初回接種ができない人が多く発生したため、1回以上接種している人が期間終了後も公費で3回の接種を完了できるよう1年間の経過措置を設ける。

2 概要

【キャッチアップ接種期間終了後の取扱い】

期間中に1回以上接種している者については、期間終了後も公費で3回の接種を完了できるよう

キャッチアップ接種期間終了後1年間の経過措置

【対象者】

- ・キャッチアップ接種対象者（平成9年度生まれから平成19年度生まれの女子）
- ・令和6年度が定期接種最終年度である者（平成20年度生まれの女子）

【経過措置の経緯】

この夏以降の大幅な需要に伴い、メーカーにおいて、限定出荷が行われている状況等を踏まえ期間中に接種を希望される方が機会を逃さないよう経過措置が設けられた。

【報告5】 HPVワクチンキャッチアップ接種経過措置

3 今後の県の対応

経過措置について、市町への情報提供・共有ほか、県民や企業・団体へ広く周知していく。

対象	内容
県民	県ホームページへの掲載、記者提供
市町	速やかな情報提供、各市町の状況把握・共有
企業・団体	経済団体（3団体）や高校、大学等（計320校）への周知依頼

4 HPVワクチンキャッチアップ接種状況

(1) 期間中の半期ごとのキャッチアップ接種者数（1回目）



(2) キャッチアップ接種率（令和6年度上半期終了時点）

22.6%（キャッチアップ1回目接種者数累計／令和6年10月1時点の平成9年度～19年度生まれの女子の数）

静岡県がん対策推進協議会設置要綱

静岡県がん対策推進協議会設置要綱

(目的)

第1条 県民の死因の第1位であるがんに対して、がん対策推進計画に基づきがん対策を総合的に推進し、健康寿命の延伸や生活の質の向上を図るために、がん対策推進協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 協議会は次に掲げる事項について協議する。

- (1) がん対策推進計画の策定・進行管理・評価・見直しに関すること。
- (2) (1)に基づくがん対策に関すること。
- (3) その他がん対策に必要な事項に関すること。

(組織及び役員)

第3条 協議会の委員は、がん対策に関わる行政、医療関係団体、医療保険者、医育機関、医療を受ける者、その他関係機関・団体の代表等をもって構成し、知事が選任する。

- 2 協議会には、会長1名及び副会長2名を置く。
- 3 会長は静岡県副知事とし、副会長は会長が指名する。
- 4 会長が必要と認めるときは、協議会に委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(任期)

第4条 委員の任期は2年とする。

- 2 委員は、再任を妨げない。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

静岡県がん対策推進協議会設置要綱

(職務及び運営)

第5条 協議会は、必要に応じて会長が招集し、これを主宰する。

2 会長に事故のあるときは、会長が予め指名する副会長がその職務を代行する。

3 協議会は公開とする。ただし、個人情報保護又は人権保護の観点から特に必要があると認められる場合は、会長は協議会を非公開とすることができる。

(庶務)

第6条 協議会の庶務は、健康福祉部医療局疾病対策課が行う。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関して必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

1 この要綱は、平成19年9月11日から施行する。

2 この要綱の施行後、協議会の設置時就任した委員の任期は、第4条第1項の規定にかかわらず、平成20年3月31日までとする。

附 則

この改正は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この改正は、令和2年4月1日から施行する。